

色と光 形

そして、空...

おともだち・ララ保育園

創造性のある保育 実践発表



発表者

どどん組担任 荒木紗子

2025年2月18日
社会福祉法人日本フレンズ奉仕団
エンパワメント実践報告会



これは
子どもたちの何気ない気づきからはじまった
約2年間に渡っての記録です



2023年の夏、夕涼み会の提灯作りでマーブルリングをやりました
そこから色水遊びが始まりました



赤・青・黄の3色を混ぜ合わせ、たくさんの色を作りました。赤と青を混ぜると紫になることも発見しました。





その夏は繰り返し色水で遊びました。色が混ざって
いくのが不思議で、何度も試していました。

色水を高い所から下へと流れていく
遊びをブロックを使って作りました



使えなくなった水性ペンを水につけたら色水になることを発見しました



• +
○





色水を凍らせてみた 太陽の光にかざしてみたら
とてもキレイ！



外に出てお日さまの下で遊びました
キラキラしていて、冷たくて気持ちいいね





お花紙を水の中に入れてみました
水と混ざって紙が溶けて沈みました





つるして光が当たると、影に色がついていることを
発見しました！



夕日の光。時間が流れると色の影が動いていきます

光の遊びにも夢中になりました





+

●



ドレミ組（年中）が育てた朝顔 しおれた花をもらって色水作り
色の濃淡、赤っぽい、青っぽい…… ひとつひとつがみんな違う



+

•

そして、絵の具の世界へと進む...





絵の具を使った遊び

ぐちゃ ぐちゃ！ 楽しい！！

赤・青・黄・白の4色を混ぜ合わせて、たくさんの色を作った





始めは好きなように混ぜ、濁った色
がたくさんできてしまった…



少しずつ、きれいな、鮮やかな
色を作るようになった

たくさん色を作った できた色を壁に貼ってみた





「アンモナイトみたい」
「きょうりゅうみたい」
「クレーンしゃみみたい」
色と形に目を向けていった

空を見上げるように
寝転んでみたよ





色と形で表現した
その色と形から想像を膨らませたお話作り

月・星・飛行機 空に伸びていくタワー



雪が降った日

真っ白な雪を見て、さつそく絵の具を取り出した



中庭のとけて来た雪を 2 階から見て
「くもみたいだね…」
そして空を見あげる
保育園の上と下に
空があった！





大雨の日
雷が鳴った日

晴れた日
雲が流れていく...



保育園の中庭を見上げて
毎日、毎日、
雲の観察を続けた





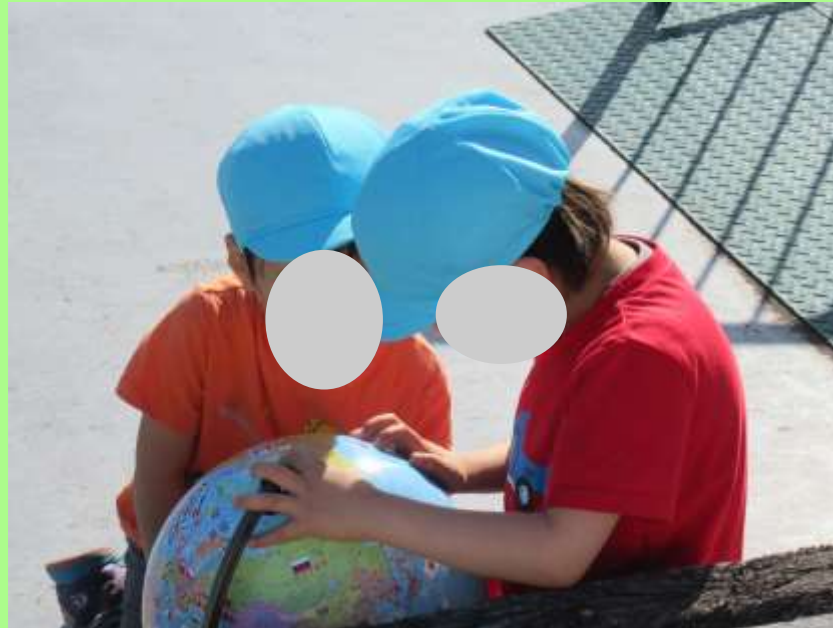
季節や天気によって雲の形も色もちがう

ずっと見続けたからこそその発見があった

「うすい」「なめらか」「ぽこぽこ」「うみのよう」「くじらがいる」 様々なことばの表現



飛行機が見える
飛んだあとには、
ひこうきぐもが見えた



飛行機はどこへとんでいくんだろう
世界のあちこちへ
その場所を調べるようになる



月が見える 星も見える
空の向こうには何があるの？

夢はその先の宇宙まで広がる…





フレンズホームの屋上へ行き、空を見上げた

南風の日には渋谷の上空を飛ぶ

大きな飛行機が見えた





+
●
○

遊びから次々と興味が広がって行った
そのひとつひとつが繋がって日常の生活がある
日々の生活の中でみるもの、感じたことが
ひとりひとりの子どもたちの生きる力になっている
子どもの気づきはたくさんある
私もその気づきを共有して、
子どもたちと一緒に喜び、笑い、感動したい



ご清聴ありがとうございます

くもがダンスパーティーをしているみたい！

社会福祉法人日本フレンズ奉仕団

おともだち・ララ保育園

荒木 紗子